

Tahara

田原市ホームページ <http://www.city.tahara.aichi.jp>

2009
平成21年

8.15

	目次	
市民の皆さんの「声」を お寄せください	2	
ゴーヤのエコカーテン	3	
神戸校区	4	
学校は今… 健康教育の取り組み	5	
ちはらシティニュース	6	
田原市民活動支援センターのページ	7	
お知らせ	8	
連載コーナー	10	

夏のキラめき
見つけたよ！



市民の皆さんの「声」をお寄せください

田原市では、市政の情報を広報紙やホームページなどでお知らせする「広報業務」だけでなく、広く市民の皆さんから意見を伺う「広聴業務」を実施しています。

ここでは、各種広聴制度をご紹介しますので、住みよいまちづくりのため、ぜひご利用いただき、皆さんの「声」を市役所へお寄せください。

●パブリック・コメント手続き制度

市が、広く市民生活に影響するような基本計画などを策定するとき、その案などを事前に公表し、皆さんからご意見をいただく制度です。いただいた意見に対しては、「市の考え方」を公表します。意見募集を行う項目や時期は、広報たはらや市ホームページに随時掲載します。また、意見募集中の計画案は、市ホームページのほか、担当課や支所などで閲覧することができます。

なお、これまで意見募集を行った内容や市の考え方は、市ホームページでご覧いただけます。

●田原市ホームページ

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp>

●市民提言箱

市政への建設的な提言や意見などを伺うため、主要な公共施設に提言箱と用紙を設置しています。住所・氏名が記載された提言に対しては、市の担当課から回答をさせていただきます。また、関係する部署で業務の参考としているほか、情報共有しています。

***設置施設** 田原市役所・渥美支所・赤羽根市民センター（旧赤羽根支所）・田原文化会館・田原福祉センター・渥美図書館・あつみライフランド



▲市役所の提言箱

●市民提言フォーム

目的は市民提言箱と同様ですが、市ホームページに入力して提言を行う制度です。

アクセス
市ホームページトップ
↓
市民参加のまちづくり「市民の声」をクリック
↓

*お願い

これらの広聴制度は、市民の皆さんの提言を市政に反映させるためのものです。事実無根の誹謗中傷、明らかな営利目的の内容などはご遠慮ください。

●お問い合わせ先
広報秘書課
☎22局0138



エコで涼しい夏を！

ゴーヤのエコカーテン

田原市では、夏の温暖化防止策として、公共施設などの緑のカーテン事業を推進しています。今回は、中部保育園と市民の方からご投稿いただいたお宅の取り組みをご紹介します。

中部保育園

中部保育園では、身近な所で緑化に取り組む活動「あいち県民グリーン運動」に登録し、ゴーヤやアサガオの栽培を行っています。5月19日（火）に、園児たちによって植えられたゴーヤの苗は、今では園の二階まで成長し、涼を届けています。



▲自分たちで育てたゴーヤの前でニコリ



●お問い合わせ先
エコエネ推進室
☎23局7401

稲垣勝代さん宅兼店舗（保美町）

5年前から取り組んでいるというゴーヤのエコカーテン。「真夏でもエアコンが必要ないときがあるくらい涼しいですよ」と稲垣さんは話してくださいました。



▲約25mものゴーヤのエコカーテンは壮観

広報サポーター
カメラリポート

＊肥料・農薬不使用、自然栽培の野菜作り
「廻屋農園」



永井和子

一年ほど前に、東京から田原市へ越してきた加藤万晴さんご夫婦。田原に来て初めて農業のことを学び始めたお二人は、三カ月ほど前から本格的に農業を始めました。現在は、若見町で肥料も農薬も使わない「自然栽培」で野菜づくりに取り組んでいます。

肥料を使用しないで栽培した野菜は、一般的な栽培をされた野菜と比べて、見た目は少し小さめではありますが、野菜本来の味がするそうです。太陽や大地、雨などの自然の力と、独自のマルチシートを使用して、地面の温度を保つことによって自然に野菜を育てているのです。年間40〜50種類の野菜を栽培される加藤さんご夫婦は、今後も様々な野菜を栽培していきたいと、意気込みをお話くださいました。



▲収穫された野菜
畑の様子

神戸

●校区自己紹介 ⑬

基礎データ

【人口】6,760人(H21.6.30現在)
 【世帯】2,293世帯(H21.6.30現在)
 【面積】約1.062ha
 【公共施設】神戸保育園・漆田保育園・神戸小学校・東部中学校・道の駅田原めつくんはうす
 【主な産業】農業・商業

校区の特色

神戸校区は、田原市の南東部に位置し、古くからの市街地、市街化調整区域にある農業地域、そして区画整理事業で新しくできた地域など、計15地区で構成されています。

コンパクトな都市機能と、豊かな自然が混在するバラエティに富んだ校区で、太平洋岸沿いの地域は、古くから農業を中心として栄え、国道259号周辺の地域は、商業地や住宅地として発展しています。

「みんなが参加 みんなで学び・創る活力ある神戸校区」を将来像に、校区住民が一緒になってまちづくりを進めています。

●神戸市民館



竹炭づくり

神戸大池のほとりに炭焼窯を構え、平成20年度から竹炭づくりに取り組んでいます。校区内の里山

保全のために竹林の間伐を行い、その竹を材料として活用することで、環境の整備と、校区住民のコミュニケーションを図る機会となっています。



●炭出し作業

盆踊りのつどい

長年行っていなかった「盆踊り」を、校区の誰もが参加できる楽しいイベントとして、平成19年度から復活させました。以前は、青年団が中心となっていましたが、現在は校区が中心となって開催し、子どもから大人まで、皆さんに楽しんでもらえるイベントとして親しまれています。



●盆踊りのつどい

みんなでつくる公園

●公園計画図(案)



神戸・大草・六連・田原東部の4校区で構成する「田原市東部太平洋岸総合整備促進協議会」が、平成10年3月に策定した地域活性化の基本計画に基づき、谷ノ口地区の太平洋岸において、森林レクリエーション公園の整備が進んでいます。公園の計画は、地元住民と市が会議を重ね、話し合いながらつくりました。

この公園には、都市と農村との交流拠点となるような施設を予定しており、現在は、地元自治会や有志による環境整備が進められ、地域の活性化にむけて大いに期待を集めています。

●公園予定地から太平洋を望む





学校は、今…

SCHOOL REPORT 13

健康教育の取り組み

子どもの健康について、親子で考えたり、子ども自身が日々の生活を振り返ったりすることが大切です。今回は、小学校と中学校で取り組んでいる健康教育活動をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679



若戸っ子 元気アップ大作戦！（若戸小学校）

6月23日（火）に、若戸小学校の全校児童と保護者が参加して、学校保健委員会を行いました。

「あいち健康プラザ」から大谷奈美先生を講師にお迎えし、「健康作りをはじめよう～夢をかなえる健康生活～」と題した講演会を開きました。大谷先生は「夢をかなえるための元気な体づくりには、しっかり食べ、よく体を動かし、よく眠る、ことが大切です」と、若戸小学校の生活リズムのデータを使い、わかりやすく話されました。その後、親子で事前に行った生活リズム記録カードをもとに「わが家の元気アップ作戦」を考えました。参加した保護者からは、「子どもの生活習慣を改善し、元気な若戸っ子になれるよう家族でがんばりたいです」などの感想が寄せられ、家族ぐるみの取り組みが期待されます。

いよいよ『若戸っ子 元気アップ大作戦！』のスタートです。



▶親子で元気アップ作戦について会議中



▶「ぼくの元気アップ作戦」を発表



▶健康について全校に呼びかける看板



▶「福中健康ウィーク」の取り組みを確認する生徒

福中健康ウィーク！（福江中学校）



福江中学校では、昨年度から「福中健康ウィーク」を設定し、月1回の1週間、自分の生活習慣を振り返る活動をしています。

生徒たちは、『朝食、栄養、睡眠、運動、1日の気分』について自分の生活を振り返ります。健康的な生活習慣の大切さは分かっているけど、「やるのがたくさんあって、寝るのが遅くなる」「ぎりぎりまで寝ていて朝ご飯が食べられない」などの生活が続いてしまう生徒もいます。福中健康ウィークの1週間は自分の生活を意識するよい機会になっているようです。

1週間を振り返ったコメントには「毎日、朝ご飯を食べるようになって、朝練の動きがよくなったと思う」「早く寝ると目覚めの気分がいい」など、健康的な生活が体によいと実感している様子が見られ、生徒自身も生活の質を上げていきたいという思いを感じます。今後もこの活動を通して、生徒一人一人が健康的な生活習慣を身につけていくことを願っています。

7/9
(木)

全国高校総体(インターハイ)

に出場する成章高校の水野春香さん(2年・弓道女子個人)、弓道女子団体(福井愛実、大場章乃、神谷実里、西山美沙、河合香名子、水野春香)、小久保翔太さん(3年・男子110メートルハードル)、柴田有里さん(3年・女子800メートル)が、鈴木克幸田原市長を表敬訪問し、健闘を誓いました。また、**全国高校総合文化祭**に彫刻作品を出展する浪崎唯さん(3年)も市長に報告しました。



▲成章高校の弓道部、陸上部、美術部の皆さん



▲「自己新記録を狙います」と意気込みを語る小林さん(中)



▲前列左から川口(良)くん、川口(育)くん、山本くん。後列、小林さん(中)

7/15
(水)

全国高校総体(インターハイ)の女子

1500メートルおよび女子3000メートルに出場する豊川工業高校の小林愛実さん(2年)が市役所を訪れ、菰田信幸副市長らに出場の報告をしました。



▲市長らから激励された和田くん(前列左)、山本くん(前列右)

7/16
(木)

全日本卓球選手権大会に出場する川口良太くん(中山小6年)、川口育寛くん(中山小4年)、山本駿介くん(福江小2年)、**全日本社会人卓球選手権大会**に出場する小林修平さんが市長から「力を出し切って」と激励されました。



▲「市のスポーツと文化を盛り上げて」と激励された森下さん(左)と天野さん(右)

7/16
(木)

全国小学生陸上競技交流大会

に出場する和田瑞輝くん(衣笠小5年・100メートル走)と山本隼平くん(伊良湖小6年・ソフトボール投げ)が、「3位入賞を目指します」と健闘を誓いました。

7/17
(金)

全国高校総体(インターハイ)の弓道男子個人部門に出場を決めた、福江高校の天野利哉さん(3年)と、**全国高校総合文化祭**に油彩画を出展する森下明日花さん(3年)が市長に報告しました。

頑張れ！
田原っこ

7

月

全国、そして世界の舞台へ



田原市民活動支援センターのページ

地元野菜を学校給食に！！「にんじんの会」



子どもたちが毎日楽しみにしている給食。現在田原市では、「自校方式」と「センター方式」の2種類の方法で給食が作られているということをご存知ですか？

「にんじんの会」会員は、自分たちが作った野菜（たまねぎ、里芋など、旬の根菜類）を、「自校方式」で給食を作っている赤羽根小学校と若戸小学校に直接届けています。

また、中学校家庭科授業での梅干しや味噌作り、小学校での鬼まんじゅうやいわしのつみれなどの伝統郷土料理の伝承、野菜の育て方の指導など、食育を通じた子どもたちとの交流は地域と学校の架け橋になっています。

会の目的 地域農産物を地域で消費／安全安心野菜の生産と提供

会の発足 平成14年、「学校給食へ地場産野菜を」の学習会（東海農政局主催）をきっかけに旧赤羽根地区で生産者が直接学校へ野菜を供給する活動を始めました。
現在活動歴7年、会員数18名。

にんじんの会 代表：渡辺 ちぐさ

連絡先 永田 みよ江 Tel (0531)45-3922

第1回 男女共同参画社会
フェスティバル
にんじんの会パネル



赤羽根小学校2年生と
一緒に野菜の植え付け



助成金情報

市民活動を行うために、さまざまな補助や助成があります。
今月からタイムリーな助成金情報を載せていきます！

助成事業名	対象・課題	申請期日	申し込み・問合せ
第16回（平成21年度） ボランティア活動助成	ボランティア活動を目的とした団体・グループ （学生・若者のグループも含む）	9月15日 （当日消印有効）	（財）大和証券福祉財団 Tel (03)5555-4640 Fax (03)5202-2014

今後の市民活動ニュース

日時	内容	会場ほか	連絡先	
9/12(土)・16(水) 10:00~11:30	田原市おもちゃ図書館 開館日	田原福祉センター 1F子育て広場 おもちゃの貸し出し期間…1ヶ月（無料）	田原市おもちゃ図書館 お陽さまライブラリー Tel (0531)22-9720（横田）	
9/13(日)・19(土) 10:00~15:00	田んぼの学校 ～稲刈り&はざかけをしよう～	どろんどろん広場 定員：30名の2クラス制（毎月開催、年間講座） 参加費：各回 900円	NPO法人はっくるベリーじゃむ Tel (0531)34-1234 e-mail info@huklejam.com	通年
9/13(日) 14:00~16:00	女性会議WIT ウィット 講演会 ～「子どもの心を聴く」とは～	講師／内田 良子氏（心理カウンセラー） 田原福祉センター 3F会議室 参加費：500円、託児有り（要申込 200円）	女性会議WIT ウィット Tel&Fax (0531)32-3963（森下） 090-2944-9004（平野）	
9/27(日) 10:00~11:00	ログドラムを使ったリズム遊び	衣笠市民館 多目的ホール 定員：小学生～大人 30名 参加費：2000円（全7回）	「チームログっこ」事務局 Tel/Fax (0531)23-0664	通年

市民活動支援センターでは、NPO・市民活動相談などを受け付けています（毎週金・土・日午後2～7時、田原文化会館フリースペース）。
同時にこの広報ページへの持ち込み原稿も大歓迎です！*紙面の都合上、内容を編集させていただく場合がありますのでご了承ください。

投稿先：市役所市民協働課 TEL：0531-23-3504 FAX：0531-23-0180 Email：kyoudou@city.tahara.aichi.jp
紙面作成・編集：田原市民活動支援センター





委員

MEMBER OF COMMITTEE

人権擁護委員

新しい人権擁護委員に、中神進さん（大久保町）が法務大臣から委嘱されました。任期は平成24年6月30日までの3年間です。

募集

WANTED

家庭介護のためのハートフル ケアセミナー 受講者

高齢者や障害者が住みなれた地域や家庭において、安心して暮らして

家庭介護のためのハートフルケアセミナー

	日時	内容
1	9月9日(水) 13:30~15:45	【講義】認知症高齢者の理解と対応 講師▶鋤柄 智子さん（看護師）
2	10月16日(金) 13:30~15:30	【講義】寝たきりにならないために ～廃用症候群を防ぐ～ 講師▶板部 美紀子さん（看護師）
3	11月17日(火) 13:30~15:30	【講義】高齢者の排泄の特徴と援助理解 講師▶飯島 佳代さん（看護師）
4	12月1日(火) 13:30~15:45	【演習】加齢にともなう尿失禁を予防するために 講師▶飯島 佳代さん（看護師）

いける街づくりを目的に、家庭介護のためのハートフルケアセミナーを開催します。介護・福祉に関心がある方は、ぜひご参加ください。

▼対象▶一般 ▼開催日時・内容▶表のとおり ▼場所▶あつみライフルランド ▼受講料▶無料 ▼定員▶35名（申込多数の場合は抽選） ▼申し込み▶8月31日（月）までに電話またはFAXにて（FAXの場合は、住所・氏名・電話番号を明記）

▼福祉課

☎ 23局 3 2 1 7 FAX 23局 3 5 4 5

子どもの救急講座 受講者

応急手当について学びましょう。

▼対象▶市内在住・在勤の方 ▼日時▶9月18日（金）午前10時～11時30分 ▼場所▶田原福祉センター ▼定員▶30名（先着順） ▼受講料▶無料 ▼申し込み▶9月14日（月）までに電話またはFAX・Eメールにて（FAX・Eメールの場合は住所・氏名・電話番号を明記） ▼その他▶託児を希望される方は9月7日（月）までにお申し込みください（先着10名）

▼生涯学習課

☎ 23局 3 5 3 1 FAX 23局 3 8 1 1

✉ syogaku@city.tahara.aichi.jp

水源地域の森へ行こう！ 秋の森づくり体験 参加者

▼対象▶豊橋市・田原市在住・在勤の方 ▼日時▶9月12日（土）午前7時30分出発（田原市役所西側車両庫前集合） ▼場所▶設楽町津具地区 ▼内容▶下草刈り作業と交流会 ▼定員▶30名（申込多数の場合は抽選） ▼参加料▶500円（昼食代） ▼持ち物▶飲料、軍手 ▼申し込み▶9月7日（月）までに穂の国森づくりの会へ電話にて

▼穂の国森づくりの会
☎（0532）55局 5272

▼政策推進課

☎ 23局 3 5 0 7

FAX 23局 0 6 6 9

生活

LIFE



愛知県防災航空隊ヘリコプター との合同訓練を行います

9月10日（木）の午前9時から正午ごろまで、赤羽根文化広場で消防署と愛知県防災航空隊ヘリコプターとの合同訓練を行います。訓練当日は安全のため一時的に周辺道路の通行制限を行いますのでご理解とご協力をお願いします。なお、雨天や悪天候の場合は中止します。



▼消防署

☎ 23局 4 0 7 5 FAX 23局 2 4 4 0

第4回危険物取扱者試験

▼種類Ⅱ乙種全類・丙種 ▼対象Ⅱ一般 ▼試験日Ⅱ10月11日(日)

▼場所Ⅱ名古屋市内 ▼申し込みⅡ9月7日(月)から16日(水)までに消防課または消防署・各分署にある受験願書に必要事項を記入のうえ提出

※詳しくはお問い合わせください。

▼消防課

☎23局4074 FAX23局0180

繁忙期に人手が足りなくて お困りの農業経営者等の方へ

9月1日(火)から、地域職業相談室では、繁忙期に労働力を確保したい農業経営者等の皆さんのために、求職者などに対して短期就労就労期間1カ月以内)の情報提供を開始します。募集情報の提出用紙は、JA愛知みなみ本所・支所、市役所商工観光課・営農支援センター・渥美支所にあります。詳しくはホームページをご覧ください。

※繁忙期に人手が足りなくてお困りの農業経営者等の方は、お気軽にお問い合わせください。

▼地域職業相談室

☎24局0050 FAX23局2766

▼商工観光課

☎23局3516 FAX22局3817

HP <http://www.city.tahara.aichi.jp>

第19回あいち下水道フェア

下水道は、私たちの生活環境の改善だけでなく、豪雨などによる浸水を防ぐ大切な役割を担っています。愛知県では、毎年9月10日の「下水道の日」にあわせて、県民の皆さんに下水道の役割や、下水道整備の重要性について、理解と関心を深めてもらうための「あいち下水道フェア」を開催しています。入場は無料です。なお気軽にお越しください。

▼日時Ⅱ9月12日(土) 午前10時～午後3時(雨天決行) ▼場所Ⅱ豊川浄化センター(豊橋市新西浜町1番3) ▼内容Ⅱ下水道に関する企画や、子どもから大人の方まで楽しめる多彩なアトラクションを開催

▼下水道課

☎23局3525 FAX22局3184



寄付

DONATION

次の方々からご寄付をいただきました。

ご厚意に感謝します。



▼7月6日、昂会様から金5万円。

ふるさと寄附金

▼6月23日、匿名希望の方から金30万円。

▼7月16日、匿名希望の方から金5万円。

8/30(日) 衆議院議員総選挙

8月30日(日)は、衆議院議員総選挙の投票日です。皆さんお誘いあわせのうえ、投票に出かけましょう。投票日当日に仕事や旅行などで都合の悪い方は、期日前投票をご利用ください。私たちの暮らしを豊かにするために、あなたの大切な一票を生かしましょう。



▼選挙管理委員会 ☎23局3506

◆地域総代連絡協議会が設立されました

赤羽根地域の3校区と7自治会による赤羽根地域総代連絡協議会と、渥美地域の8校区と27自治会による渥美地域総代連絡協議会が設立されました。これは、地域審議会の設置期間が満了したのを受けて、校区および自治会の一層の連携と協調を行い、地域の課題について協議し、地域活動を行っていかうというものです。

4月23日(木)に開かれた赤羽根地域総代連絡協議会において、会長に渡会清継氏(若戸校区総代)、副会長に大武義受氏(赤羽根校区総代)が選任されました。また、6月23日(火)に開かれた渥美地域総代連絡協議会において、会長に荒木惇一郎氏(中山校区総代)、副会長に山本達夫氏(亀山校区総代)、山内健一氏(江比間自治会長)、渡会繁雄氏(福江自治会長)、小久保将啓氏(堀切自治会長)の4名が選任されました。

■問い合わせ先

赤羽根地域総代連絡協議会

▶赤羽根市民センター(旧赤羽根支所)

☎45局3111 FAX45局3115

渥美地域総代連絡協議会

▶渥美支所地域課

☎33局1118 FAX32局2506



広がる未来へ

*たはらエコ・ガーデンシティ構想

40

進むエコ社会③

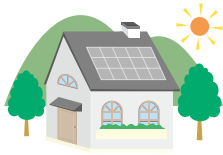
ソーラーライフにこころをこぼす

田原市では、日射量が全国平均を約2割上回る日照条件を生かして、2010年度の設備容量3300kWを目標に、市民や事業者、公共施設などへの太陽光発電設備の設置を推進しています。

特に住宅用太陽光発電施設は、市内持家世帯の約4・6%が設置し、国内でもトップレベルの設置率です。

■太陽光発電の特徴

エネルギー源が太陽光のため、どれだけ使用してもなくならず、無償です。しかも電気を作るときに、窒素酸化物や二酸化炭素などの有害物質を出しません。また、災害などで電気の供給が止まった場合には、一定の電気を自給することも可能です。



●たはらエコチャレンジ宣言登録者数個人421人・事業所18か所(7月末現在)

◆太陽光発電施設設置補助金

太陽光発電導入量の飛躍的な拡大のために、国においても一般住宅への太陽光発電システム設置を支援しています。条件が合えば、田原市の補助制度と併せて補助を受けることができます。

■田原市の補助制度

●補助額8万円/kW(ただし施設設置費の1/3以内)、上限4kW
※申請は工事着手の2週間程度前

■国の補助制度

●補助額7万円/kW、上限10kW
●条件Ⅱ設置価格70万円(税抜き)/kW
以下のも

※国の補助制度については、太陽光発電普及拡大センターにお問い合わせください。

●太陽光発電普及拡大センター
☎(043)239局6200

※受付時間/午前9時〜午後5時30分

▼エコエネ推進室

☎23局7401 FAX 23局0180

✉ekoene@city.tahara.aichi.jp



省資源とリサイクル

16

皆さんは、Reduce Reuse Recycleについてご存じですか？
今回は、改めて「3R」について考えてみましょう。

Reduce ごみを減らす

ごみを出す日に、ごみの量が多いと感じませんか？なぜ、こんなにごみが出るのか？どうすれば減らせるのか考えてみましょう。

*ゴミを減らすポイント

- 必要の無いものは、買わない、もらわない。
- 買物のとき、エコバックを持参する。
- 使い捨て商品の使用を控える。

Reuse 繰り返し使う

まだ使えるものののに、捨ててはいませんか？ごみだと思っても、気持ち次第で生かすことができるものです。

*繰り返し使うポイント

- 詰め替え商品を使う。
- リサイクルショップやフリーマーケットを活用する。
- 故障したものは、修理して使う。

Recycle 再資源化する

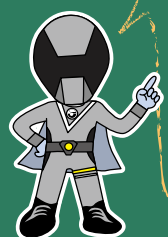
ペットボトルが衣料品に、牛乳パックがトイレトーパーになど、資源ごみは別の製品に生まれ変わります。分別と再資源利用にご協力をお願いします。

*再資源化のポイント

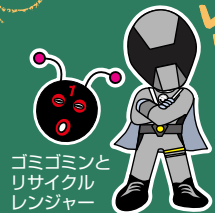
- 資源になるごみは、分別して回収に出す。
- 家庭用生ごみ処理機で堆肥を作る。
- エコマーク商品を優先して購入する。



3つのRについてできることから始めてみましょう。



清掃管理課
☎23局35008
FAX 23局0180



ゴミゴミンとリサイクルレンジャー

交 流 通 信

このコーナーでは、国内外合わせて7つある田原市の姉妹・友好都市などの情報をお届けします。

▶政策推進課 ☎ 2 3 局 3 5 0 7

みっはし とよくに 三都橋・豊邦交流センター利用のご案内

姉妹都市・設楽町にある三都橋・豊邦交流センターは、豊川上下流域交流促進を目的に、平成9年3月に廃校になった小学校を田原市が借り受けている施設です。山や川の自然に触れるなど、市民の皆さんの余暇活動の場として利用できます。

◆利用方法

- キャンプ、バーベキュー、スポーツ活動など

◆利用対象

- 田原市民 ※営利目的での利用は不可

◆利用料金

- 無料(電気、水道などの使用料も無料)
- コンロ、ワンタッチテントなどの無料レンタルあり



▲三都橋交流センター



▲豊邦交流センター

◆申し込み

- 各交流センターの会長へ電話予約

予約先	電話番号
三都橋交流センター 会長 羽谷米三さん	(0536)64局5334
豊邦交流センター 会長 丸山正勝さん	(0536)64局5499

- 利用日当日にセンターで
利用申込書を記入

※詳しくは市ホームページ
公共施設案内をご覧ください。
くかお問い合わせください。



▲近隣の川遊びスポット

☎ <http://www.city.tahara.aichi.jp/>

度にしています。
屋内にいる場合
などは放送が聞
き取りにくいこ
とがあります。



■ **放送音量の設定は？**
スピーカーから流れる音量の設
定基準は、音が大き過ぎるとスピ
ーカー付近の方に迷惑となるた
め、屋外にいて放送が聞こえる程
度にしています。

■ **防災行政無線(同報無線)とは？**
屋外に設置したスピーカー(屋
外子局)などで市民の皆さんに防災
に関する情報や、市役所などから
のお知らせを放送するものです。

■ **「安心安全ほっとメール」の配信サ
ービスを行っています。また、防災
行政無線放送を受信できる「防災ラ
ジオ」を販売します。申し込みを9
月30日(水)まで受け付けています。
詳しくはお問い合わせください。**

◆安心安全ほっとメール

次のメールアドレス
に空メールを送信する
だけで登録できます。



● 気象警報や地震情
報など防災情報

✉ bousai@city.tahara.aichi.jp

● 広報・火災情報など市内無線放送
と同じ情報

✉ nusen@city.tahara.aichi.jp

● 児童・生徒を対象とした不審者な
どの防犯情報

✉ bouhan@city.tahara.aichi.jp

▼防災対策課 ☎ 23局3548

忍びよる巨大地震

かん
ちゃん

防災行政無線(同報無線)放送
防災まめ知識

51



■ほかに放送内容を知る方法は？

携帯電話やパソコンに防災情報や

防災行政無線情報などを配信する

「安心安全ほっとメール」の配信サ

ービスを行っています。また、防災

行政無線放送を受信できる「防災ラ

ジオ」を販売します。申し込みを9

月30日(水)まで受け付けています。

詳しくはお問い合わせください。

歴史探訪

クラブ

History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635

FAX 22局3811

戦争と二宮金次郎

7月の初めに泉小学校を訪れました。黒松に囲まれた落ち着いた雰囲気、歴史ある学び舎の姿を見ました。校庭には、さまざまな記念の石碑が建てられ、その隅に児童を長く見守ってきた二宮金次郎の像がありました。この像は、石製でも金属製でもない、珍しいセメント製のものです。(二宮金次郎の像については歴史探訪クラブの48号でも触れたことがあります。)

さて、セメント製というと安っぽい感じがしますが、実はそうではありません。



ません。セメントは、明治から昭和初期にかけて最新の素材として注目されてきました。建築家や芸術家などの職人が、建築や彫刻用の石、金属、木、陶器などに代わり、この素材を使って新しい表現に挑戦していったのです。ちなみに日本で最初に金次郎像が設置されたのは前芝小学校(豊橋市)のセメント製の像で、大正13年(1924)のことでした。



▲像に取り付けられたプレート
◀泉小学校の金次郎像

泉小学校の金次郎の台座には「寄贈 豊橋市 榊原才一 昭和九年十一月三日建像 本像ハ元銅製ナリ シモ大東亜戦争下昭和十七年八月応召硬化石製ヲ以テ再建像セリ」と刻まれています。つまり、もとの銅像は、昭和17年に戦争の軍事物質として差し出され(供出)、その

後、ほどなく硬化石製(セメント製)で新しく作られたのです。他



▲像に取り付けられたプレート
童浦小学校の金次郎像▶



にも、供出の事実がわかる金次郎像は、童浦小学校(元は北部小学校のもの)にもありました。台座には立派な金属プレートが付けられ、寄付者の名が連なっています。その下には「岡崎市 鍛造 藤嶋貞造 岡崎市 塑像 多和田泰山」とあり、昭和9年4月1日に作られたとあります。この像は鍛造であったことから、銅製であるはずなのに、現在は石製です。つまり、もとの金次郎像は供出され、石製のものに換えられたのです。この残されたプレートにより、金次郎像が供出された事実がわかります。

戦争時には銅像はもちろん、あらゆる金属が供出されました。歴史

探訪クラブの55号で紹介した寺の梵鐘もその一つです。人々の生活の道具はもちろんのこと、信仰や尊敬、平和の象徴であった大切なものまでも「国家総動員法」の名のもとに、人だけでなく物質までも容赦なく戦争へ送り出されていったのです。

児童のヒーローであった金次郎像が運び出される姿を見て、児童たちはどのように感じたのでしょうか。泉小学校の金次郎像を見て、戦争によって起こったすべての悲しみを乗り越え、戦争のない世界を築くことが今を生きる私たちの務めであると感じた日でした。

※寺院で鐘楼につり下げ、丁字形の棒でつき鳴らす鐘。

(増山)

今月の「表紙」

▼サンテパルクの水遊び広場は、涼を求める親子連れで大にぎわい。水深が浅いので、小さな子でも安心して遊ぶことができるのも魅力の一つで、初めての水遊びを体験している子もいました。皆さんもこの夏、いろいろなことに挑戦して、楽しい思い出をたくさん作ってくださいね。(〇)

【表紙の写真】サンテパルクたはら水遊び広場